



第 85 卷 第 3 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 南アフリカ連邦結成と「和解」の創出……………堀内隆行 (1)
- 明朝官僚の徴税責任……………谷井陽子 (33)
——考成法の再検討——
- 18世紀末ティロールにおける地域と国家……………佐久間大介 (68)
——1790年の領邦議會を中心に——

研究ノート

- 平安前期東北史研究の再検討……………瀧原智幸 (102)
——「鎮守府・秋田城体制」説批判——

史料紹介

- 近世中期大坂の人口・公事訴訟関連史料……………有坂道子 (121)

書 評

- 篠原徹編『近代日本の他者像と自画像』……………菊地 暁 (129)
- 秋田茂・籠谷直人編『1930年代のアジア国際秩序』……………松浦正孝 (135)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

受贈誌

(二〇〇二年二月二十五日)
(二〇〇二年四月三〇日)

- アジアフォーラム (大阪経済法科大学アジア研究所) 二二三
- 立命館産業社会論集 (立命館大学産業社会学会) 三七―三六
- 岐阜経済大学論集 (岐阜経済大学学会) 三一―三二
- 京都橘女子大学研究紀要 (京都橘女子大学) 二八
- 東方学会報 (東方学会) 一〇三
- 立命館文学 (立命館大学人文学会) 五七
- 二・五七三
- 三田史学 (三田史学会) 七一―
- 経済論集 (ソウル大学校経済研究所) 四〇
- 一四
- 文書館だより (栃木県立文書館) 三二
- 日本学刊 (中華日本学会・中国社会科学院日本研究所) 二〇二―一・二二
- 古代文化 (古代学協会) 五四―一―三
- 国家学会雑誌 (国家学会事務所) 一一五―
- 一・二
- 一橋研究 (一橋研究編集委員会) 二六―四

九州国際大学法学論集 (九州国際大学法学会) 八一―二

鹿児島経済論集 (鹿児島国際大学経済学部学会) 四二―一・二

人類学雑誌 (日本学会事務センター) 一〇九―二、一〇一―二

史迹と美術 (史迹美術同放会) 七二・七三

社会経済史学 (社会経済史学会) 六七―四

帝京史学 (帝京大学文学部史学科) 一七

寧楽史苑 (奈良女子大学史学会) 四七

新潟産業大学人文学部紀要 (新潟産業大学附属研究所) 一三

韓國民族文化 (釜山大学校韓國民族文化研究所) 一七

HISTORIA MEXICANA (EL COL. EGIO DE MEXICO) 一〇一・一〇二

国立台湾大学法学論叢 (国立台湾大学法律学系出版) 三〇―四―六

立命館法学 (立命館大学法学会) 二七八―二八〇

一橋論叢 (一橋大学一橋学会) 二二七―三・四

史学雑誌 (史学会) 一一―一・二・三

国史学 (國學院大學国史学会) 一七五

西洋史学報 (広島西洋史学研究会) 二九

関学西洋史論集 (関学西洋史研究会) 二五

愛知大学文学論叢 (愛知大学文学会) 二二

福岡大学研究部論集 人文科学編 (福岡大学研究推進部) 一一七

斯道文庫論集 (斯道文庫) 三六

歴博だより (愛媛県歴史文化博物館) 二九

史窗 (京都女子大学史学会) 五九

国立歴史民俗博物館研究報告 (国立歴史民俗博物館) 九二・九三

東方学報 (京都大学人文科学研究所附属漢字情報研究センター) 七三

福建師範大学学報 哲学社会科学版 (福建師範大学図書館) 一一二・一二三

青森県史だより (青森県) 一〇

東洋学報 (東洋文庫) 八三―四

神戸薬科大学研究論集 (神戸薬科大学研究論集編集委員会) 三

アジア文化史研究 (東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻) 二

- 信濃(信濃史学会) 五四―三・四
 文化学年報(同志社大学文化学会) 五一
 人文学(同志社大学人文学会) 一七一
 七隈史学(七隈史学会) 三
 山口大学文学会誌(山口大学文学会) 五二
 クロノス(京都橘女子大学女性歴史文化研究所) 一六
- RITSUMEIKAN LAW REVIEW (The
 Ritsumeikan U. Law Association) 一九
 研究紀要(栃木県立文書館) 六
 日本史研究(日本史研究会) 四七五・四七
 六
 人文地理(人文地理学会) 五四―一
 龍谷大学経済学論集(龍谷大学経済学会)
 四一―一五
 大東文化大学漢学会誌(大東文化大学漢学
 会) 四一
 地域史研究はこだて(函館市) 三四
 関西学院史学(関西学院大学文学部史学
 科) 二九
 日本歴史(日本歴史学会) 六四七
 日本学士院紀要(日本学士院) 五六―三
 駿台史学(駿台史学会) 一一四
 経済学研究(九州大学経済学会) 六八―
 二・三合併号
- 奈良文化財研究所史料(奈良文化財研究
 所) 五五
 飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報(奈良
 文化財研究所) 一五
 官営工房研究会会報(奈良文化財研究所)
 七
 平城宮発掘調査出土木簡概報(奈良文化財
 研究所) 三六
 研究紀要(歴史学会) 一七三
 東北学院大学論集 歴史学・地理学(東北
 学院大学学術研究会) 三三五
 東洋史研究(東洋史研究会) 六〇―四
 京都大学経済論集(京都大学経済論集編集
 委員会) 二〇
 長野県立歴史館たより(長野県立歴史館)
 三〇
 研究紀要(長野県立歴史館) 八
 アジアセンターニュース(国際交流基金ア
 ジアセンター) 二〇
 ニューズレター(名古屋大学大学院経済学
 研究科附属国際経済動態研究センター)
 一三
 社会学年誌(早稲田社会学会) 四三
 常葉国文(常葉学園短期大学日本語日本文
 学会) 二六
- 中央大学文学部紀要 史学科(中央大学文
 学部) 四七
 正倉院紀要(宮内庁正倉院事務所) 二四
 中国史研究(中国史学会) 一七
 福島県立博物館紀要(福島県立博物館) 一
 六
 オリエント(日本オリエント学会) 四四―
 二
 小樽商科大学人文研究(小樽商科大学) 一
 〇三
 札幌大学女子短期大学部紀要(札幌大学女
 子短期大学部) 三九
 研究年報(東洋大学アジア・アフリカ文化
 研究所) 三六
 神道宗教(神道宗教学会) 一八四・一八五
 研究紀要(大分県立歴史博物館) 三
 国東半島莊園村落遺跡詳細分布調査概報
 (大分県立歴史博物館) 豊後国安岐郷三
 経済論究(九州大学大学院経済学会) 一一
 二
 史学研究集録(國學院大學大学院日本史学
 専攻大学院会) 二七
 青丘学術論集(韓国文化研究振興財団) 二
 〇
 史料館報(国文学研究資料館史料館) 七六

『史林』投稿規定

◇資格 本会会員であること。

◇投稿受付原稿の種類、長さ

○論説 四〇〇字詰八〇枚以内

○研究ノート 四〇〇字詰五〇枚以内

○研究動向 四〇〇字詰五〇枚以内

○書評 四〇〇字詰二〇枚以内

○紹介 四〇〇字詰三枚程度

◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧文要約」、研究ノートには「欧文要約」を添付のこと。

◇研究動向・書評には「欧文タイトル」のみ添付のこと。

◇注は各章末に入れること。

◇ワープロ原稿の場合には、フロッピー(MS-DOS)のテキストファイル、機種

を明記する)を添付のこと。

送り先 史林編集委員会

〒六〇六(一) 京都市左京区吉田本町

京都大学文学部内

御注意

図表、あるいは特殊活字を掲載する場合には、その印刷経費の一部を負担していただくことがあります。

『史林』投稿規定補足

ワープロデータ支給要領

※ワープロデータを支給していただく場合、左記の保存内容でお願いします。

・拡張子が「.TXT」となるテキストデータで保存して下さい。また、本文と注を分けて別のファイルとして保存していただいた方が作業が早くなります。

例 HONBUN.TXT

・右記の保存方法が不可能な場合、ワープロ専用機の保存方法で結構ですが、機種名をラベルなどに記載下さい。Mac・パソコン(Windows) 使用の場合、機種名に加えてソフト名の表記もお願いします。

・基本的に、投稿論文のデータのみを保存して下さい。 unnecessary データがある場合は明瞭にして下さい(ラベルに表記など)。

・フロッピーディスクは、3・5インチ2DD(640KBモノ)か、3・5インチ2HD(1・2MB)でお願いします。フォーマット形式は明記して下さい。

『史林』図版投稿規定

図版の掲載を希望される場合、作成に当たり以下の事項にご留意下さい。また、原則として完成された状態で提出していただきますが、掲載にあたり不備がある場合には、投稿者に修正をお願いするか、編集委員会にて修正いたします。ただし、後者の場合の経費は投稿者の負担となります。

◇作図はトレーシングペーパーや製図用ケント紙などに、インキで明瞭に描くこと。製図用ペンを使用することが望ましい。

◇図中の文字は写真植字を貼り込んで印刷するので、該当個所に鉛筆書きするか、トレーシングペーパーを重ね貼りしうえて文字のみ書き入れ指定すること。なお、インスタントレタリングやワープロ文字を用いて原図に直接貼り付けても構わないが(キャプションを除く)、この場合、仕上がり段階での大きさと鮮明度に留意すること。

◇コピーされた図を用いる場合も、十分鮮明なものであること。不鮮明な部分がある場合、掲載の趣旨を損ねない程度に修正を加えておくこと。

◇できるだけ刷り上がり予定寸法の二倍程度（面積では四倍）の大きさで作成し、希望縮小率を示しておくこと。版の大きさは本文中を参照のこと。

◇写真の場合は写真原版が十分鮮明で明確のコントラストが明瞭なものであること。刷り上がり予定寸法の1〜二倍程度の版が望ましく、希望縮小率を示すこと（巻頭にアート紙を用いた掲載を希望する場合、割付・仕上がり等については編集委員会で調整いたします。この場合、掲載に関わる経費が投稿者負担となる場合があります）。

◇表については、刷り上がりの段階を考えて大きさや表現方法に留意すること。投稿された表そのものの掲載を希望する場合はその旨を明記し、図に準じた体裁を整えておくこと。

◇以上の図・表について、キャプションを付す場合は欄外などに明記しておくこと。また、割付希望箇所を本文の打ち出し原稿中に必ず指示しておくこと。

編集後記

史林八五巻三号をお届けします。論説二本、研究ノート一本、史料紹介一本、書評二本から成る充実した内容となりました。また、日本史、西洋史、東洋史と多彩な論文が掲載されています。ご味読ください。編集委員になって二年たちますが、編集会議で多くの意欲的な論巧にいち早く出会えることが編集委員としての楽しみです。自分の個人的な研究では触れる論文の範囲が限定されがちですが、編集会議では、自分の研究テーマとは違い時代・地域の論文を幅広く知ることができます。そこでは、同じ歴史を扱う研究でも、多様な視角・方法があることや、専攻によって論文のテーマや切り口に傾向があることを学びました。しかし、それ以上に痛感したのは、論理的な表現に優れた論文は、難解な文章や語彙を使わずとも、専攻や対象地域・時代が異なる人にも、容易にその趣旨が理解できるということでした。それは歴史を扱う論文に限ったことではないでしょう。論文を通して、自分の意見を「伝える」ことは、易しいようで意外と難しいのかも知れません。

近年は、人文科学・社会科学の従来の知のあり方に根本的に再検討を促す研究視角が注目されています。そういった動向を積極的に受容し、歴史学に反映させることも重要であり、それが学問を発展させる一つの道であることは確かでしょう。しかし同時に、論文を「論文」たらしめる論理的な思考も改めて鍛える必要があるように思います。専攻やテーマを問わず、多くの人を感動させるような研究を行いたいものです。(並)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.hin.kyoto-u.ac.jp/~hmagai/SHR/index.html>

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

二〇〇二年四月二十五日印刷
二〇〇二年五月一日発行
定価 二〇〇円
史 林 第八五巻第三号（通巻第四三三号）

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行人

史 学 研 究 会

振替京都〇二〇七〇二二五二五番
理事長 石 原 潤

印刷所

中村印刷株式会社
京都市南区上島羽粟田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXV No. 3

May 2002

CONTENTS

Articles :

- HORIUCHI Takayuki, The Unification of South Africa and the Invention
of "Reconciliation"..... (1)
- TANII Yoko, Government Control over the Bureaucracy
and the Collection of the Land Tax during the Ming Period (33)
- SAKUMA Daisuke, „Landespatriotismus“ in der Habsburgermonarchie des
18. Jahrhunderts : Am Beispiel des offenen Landtags in Tirol 1790 (68)

Note :

- FUCHIHARA Tomoyuki, A Reexamination of the History of the Tohoku
Region in the Early Heian Period (102)

Document :

- ARISAKA Michiko, The Population of Osaka and the Frequency
of Law Suits in the Middle Edo Period (121)

Book Reviews :

- SHINOHARA Toru ed., *Images of Self and Others*
in Modern Japan (KIKUCHI Akira) (129)
- AKITA Shigeru and KAGOTANI Naoto eds., *International Order of*
Asia in the 1930s (MATSU'URA Masataka)..... (135)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369